

大野川水系大野川2洪水時家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）

1 説明文

(1) この図は、大野川水系大野川2の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の大野川2の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大野川2が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしている等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2 基本事項等

(1) 作成主体 大分県

(2) 公表年月日 平成31年4月19日

(3) 対象となる水位周知河川
 ・大野川水系大野川2（実施区間）
 左岸：大分県豊後大野市千歳町柴山 平成大橋の上流400mから下流600mまで
 右岸：大分県豊後大野市三重町浅瀬 平成大橋の上流750mから下流600mまで

(4) 算出の前提となる降雨 大野川流域の48時間総雨量798mm

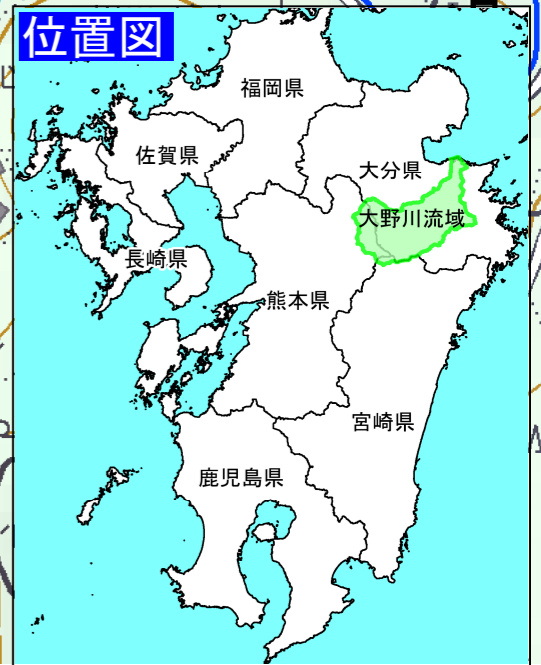
(5) 関係市町 豊後大野市

凡 例

■ 氾濫流による洪水時家屋倒壊危険ゾーン

↔ 水位周知区間

0 500 m
 スケール 1:7,000



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平29情使、第779号）